

新文化選書

目次

再版の序

序

序章 共産党への提言

- 1 反平和手段主義を批判する……………五
- 2 平和革命は絶対に不可能か……………七

I ブルジョア・デモクラシーと政治暴力

- 1 暴力を暴力たらしめる条件……………三
- 2 自由の抑圧と政治的暴力……………六
- 3 ブルジョア・デモクラシーの理念と現実……………四
- 4 ブルジョア・デモクラシーの推進者としての労働階級……………四

II ブルジョア・デモクラシーの憲法と自由および暴力

- 1 憲法をめぐる争い……………五
- 2 憲法的自由の意義……………六
- 3 憲法における暴力と自由……………六
- 4 暴力者としての支配階級……………七

III ブルジョア・デモクラシーの自由

- 1 プロレタリアートとブルジョア・デモクラシーの自由……………七
- 2 ブルジョア・デモクラシーの自由の論理……………七
- 3 ブルジョア・デモクラシーから
プロレタリア・デモクラシーへの転化……………六

IV プロレタリアートと議会政治

- 1 美濃部達吉の時代……………二二
- 2 議会政治の危機……………二六
- 3 ブルジョア政治家たち……………二九
- 4 自由の抑圧と議会政治の形骸化……………三三
- 5 自由と暴力……………二〇
- 6 暴力革命主義と平和革命主義……………二五
- 7 日本の独立と自由の問題……………四

V 戦争否定の道徳と権力

- 1 《汝殺すべからず》という道徳規範と戦争……………二五
- 2 道徳と権力……………二八
- 3 社会主義の道徳と戦争……………二九
- 4 戦争と暴力革命の否定者……………二七

VI スターリン論文と両体制の共存にかんする諸問題

- 1 資本主義国家間の戦争の不可避性ということについて……………一八
- 2 両体制間の緊張とアメリカ帝国主義……………一五
- 3 平和主義と社会主義……………一五

〈補 論〉

I 階級・権力および国家について

- 1 社会階級および階級支配の諸問題……………二〇
- 2 権力とその論理構造……………二六
- 3 権力組織としての国家……………二四

II デモクラシーと天皇制

- 1 プロローグ……………二七
- 2 天皇制と支配階級……………二八
- 3 天皇の権威と権力……………二九
- 4 天皇制の支柱……………二九